

福祉の

かさまつ社協



第219号

令和8年5月1日

〒501-6063

岐阜県羽島郡笠松町長池408-1

TEL (058)387-5332

FAX (058)387-5134

E-mail : kasafuku@ccn5.aitai.ne.jp

<https://userweb.alles.or.jp/kasafuku/>

編集・発行 / 社会福祉法人笠松町社会福祉協議会

“もしも”に備える

「笠松町災害ボランティアセンター」の体験 (詳細は4ページ)



災害ボランティアセンターとは……

被災された方の困りごとを受け止め、

支援に駆けつけたボランティアをつなぐ拠点です

行事だより



地域のために自分ができること ～支え合いサポーター養成講座修了～

2月13日(金)「支え合いサポーター養成講座」の修了式を行いました。平成28年度から実施している本講座の修了者は119人となりました。

講座では、役場の健康介護課職員による介護保険制度の講話、笠松町基幹相談支援センターの内堀元夢氏より障がいのある方との接し方などについて学びました。また、実際にボランティア団体で地域の困りごとを手助けした事例の説明を受けました。参加された方からは「自分のできる範囲で地域の困りごとを助けたいです」との感想がありました。

今後、地域で困りごとがあった際には、ボランティアとして活動をしていきます。



介護技術演習も行いました

楽しくにぎやかな世代間交流 ～ボランティアグループKind活動報告～

※Kindはふくし体験教室を修了した小学生から社会人までのメンバーで構成されているボランティアグループです

2月14日(土)ボランティアグループKind9人が集まり、町内のひとり暮らし高齢者の方を招いて交流会を開催しました。「ピンゴ」や節分にちなんだ「鬼の的当て」など、メンバーが自分たちで考え準備したレクリエーションを行い盛り上がりました。レクリエーションを楽しんだ後は、おやつを囲みながらゆっくり交流の時間を過ごしました。参加者からは「若い子たちと話せて元気をもらいました」との感想や、昨年に引き続いて参加して下さった方からは「去年一緒にグループで遊んでくれた子だね。またここに来られてうれしいわ」と久しぶりの再会を喜ぶ声が聞かれました。



狙うは鬼の角部分の100点!

手を取り合い笠松町の福祉の発展を…～社会福祉法人等連絡会～

2月25日(水)福祉健康センターで「笠松町社会福祉法人等連絡会」設立総会を開催しました。

この総会で町内4つの社会福祉法人が入会し、今後は顔の見える関係をつくり、連携・協働して地域生活課題の解決を目指していきます。総会では「少ない中でも、同じ笠松町内にある社会福祉法人として、連携し合って笠松町の地域福祉に役立つような会になるとよい」と意見もあり、「地域貢献」をテーマに共有することができました。

【入会した社会福祉法人】(順不同・敬称略)

- ・羽島郡福寿会・笠松町地域振興公社・徳雲会
- ・笠松中央福祉会



課題解決に向けて話し合う場に

情報紙「えがお」について意見交換

3月18日(水)厚生会館で、情報紙「えがお」を製本するえがお会メンバー、原稿作成者で意見交換会を開催しました。

情報紙「えがお」は、見守りを目的として笠松町の65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に配付している冊子です。製本した後、民生委員の協力で毎月対象者に届けています。

意見交換会では、「最近の情報をわかりやすく説明した記事『読者のページ』を楽しみにしている」や「にこにこクッキングの記事は、旬の食材を使用し作りやすい」などの意見ができました。

1年間お疲れ様でした。引き続きご協力をお願いします。


にこにこクッキング
令和8年4月

みつ菜のごまだれかけ

<材料1人分>
・みつ菜1束 (50g)
・鶏ささみ1本 (50g)

① 酢 小さじ½
② 砂糖 大さじ½
③ しょうゆ 大さじ½
④ マヨネーズ大さじ½
⑤ すりごま 大さじ1

エネルギー
156kcal
塩分1.5g



【作りかた】

- ① 鶏ささみは筋を取って、少量の酒と塩(分量外)を入れたお湯で、火が通るまで茹で、粗めに裂く。
- ② みつ菜は根を切り落とし、熱湯で軽く茹で、水に浸けて冷ましたら、よく絞って3cm程度に切る。
- ③ ④の調味料をよく混ぜあわせる。

「あたたかい善意のこころ」お届けしました ～生活困窮者生活援助事業～

3月22日から27日に就学援助世帯で希望された75世帯に食品・日用品などが詰まった「かさまつ助け合い愛パック」を配付しました。パックの配付は物価高の影響が特に生活に及びやすい就学援助世帯が対象で、個人や企業からいただいた寄付金と赤い羽根共同募金配分金を活用して実施しています。今年度は、町内の方から寄付いただいたお米124kgも合わせて配付しました。受け取った方からは、「いつもいろいろなものをいただき、食べ盛りの子がいるので助かっています」「物価高で皆が大変な中、いつもこの様な支援ありがとうございます」などの声がありました。皆さんの「あたたかい善意のこころ」ありがとうございました。



お渡しした「助け合い愛パック」(一例)

情報の森

いろいろな情報の木が生えた、かさまつ社協事業の森へようこそ。かさまつ町民の“エンジョイ”を応援してくれる情報をピックアップし、ご紹介します。気になる木が、きっとあるはず。新鮮な驚きや発見に出会えるトクする情報満載です。あなたも参加しませんか？



ふくしについて楽しく学ぼう!! ～ふくし体験教室参加者募集～

町内在住の小学5年生から中学生の児童・生徒(定員15人)を対象に、「ふくし体験教室」を下記のとおり全8回開催します。各種疑似体験や障がいのある方との交流などを行い、福祉について楽しく学びます。

参加にあたり保険料(800円)が必要です。参加をご希望の方は、各学校または右の申込フォームよりお申し込みください。



申込フォーム

回数	開催日時	内容
第1回	7月4日(土) 13:00~16:00	開講式 車いすの生活とスポーツ
第2回	夏休み期間中(日時未定)	盲導犬とふれあおう~補助犬ってなあに?~
第3回	9月5日(土) 9:30~14:30	お年よりとふれあおう~認知症について~
第4回	10月3日(土)	9:30~12:15 募金活動をしよう!
第5回		13:00~16:00 車いすでまちへ出よう!(マップ作り)
第6回	12月5日(土) 9:30~12:00	聴覚障がい・手話について学ぼう
第7回	2月6日(土) 9:30~12:00	視覚障がい・点字について学ぼう
第8回	3月6日(土) 9:30~12:00	まとめ 修了式



車いすでまち探検の様子(昨年度)

ボランティア情報

笠松町ボランティアセンター
☎387-5332 FAX 387-5134
長池408-1福祉健康センター内
8:30~17:15 (土・日・祝祭日は休み)

誰ひとり取り残さない地域へ

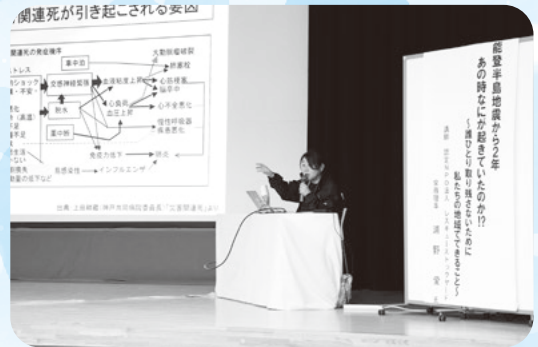
～災害ボランティアコーディネーター フォローアップ講座の開催～

2月28日(土)笠松中央交流センターで災害ボランティアコーディネーターフォローアップ講座を笠松町、笠松町自主防災会協議会と共催で開催し、99人の方が参加しました。

現在も石川県穴水町に常駐し、被災地支援を続けている認定NPO法人レスキューストックヤード 常務理事 浦野 愛氏にお越しいただき、「能登半島地震から2年 あの時に何が起きていたのか!？」をテーマに災害から命と暮らしを守るために私たちの地域でできることについて考えました。

講演後は、災害時の社協の役割でもある「笠松町災害ボランティアセンター」の体験を行い、参加者にはボランティア役を通してセンターについて知っていただく機会となりました。

災害が起きた際は、地域の皆さんをはじめ、行政、企業、NPOなど様々な関係機関と連携し、センター運営を行っていきます。



“先の見えない不安”は今も続いている!

<感想> ・自分ごととして考えなければと思いました ・ボランティアに協力してみたい
・(センターについて) みんなに知ってもらいたい ・活動する方がみえることが心強く感じました など

地域で活躍するボランティア紹介! 腹話術師マイチェルさん

今回は、町内で活動している腹話術師マイチェルさんを紹介します。アメリカの11歳の女の子がテレビで腹話術をしている姿に惹かれて、50歳を過ぎてからの挑戦でした。今ではカルチャー教室の講師をはじめ、町内のふれあいサロンや高齢者施設などさまざまな場所で活躍されています。

利用者さんからは、人形が話しているようなパフォーマンスに驚きの声が上がリ、施設内は楽しい笑い声でいつもいっぱいです。マイチェルさんは「趣味ではじめた腹話術が人生を変えてくれた。うまくできなかったけど好きだから頑張れた」と話されていました。地域の中で人形と一緒に届ける、笑顔ひろがるステキな活動です。

なお、「ボランティア活動してみたい」「ボランティアに来てほしい」などのご相談がありましたら、お気軽に本センターまでご連絡ください。



腹話術師マイチェルさんとよこおばあちゃん

使用済み切手の収集について

使用済み切手の収集にご協力をお願いします。
ご協力いただいた使用済み切手は、換金後、災害ボランティアセンターの備品購入などに役立ちます。
今後とも使用済み切手の収集にご協力をお願いします。

消印に関係なく切手の周囲を5mm程度残して
切り取ってください



ありがとうございます



使用済み切手の収集活動にご協力
いただき、ありがとうございます。
2月7日~4月8日(順不同・敬称略)

瀬瀬 英子
株式会社環境システム社・警備部
リバーサイド笠松園
笠松町シルバー人材センター
匿名3件

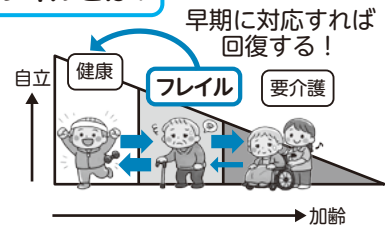
地域包括支援センターだより

笠松町地域包括支援センター ☎388-7133 FAX 387-5134 長池408-1福祉健康センター内

地域の集いの場でフレイルチェック開催しています！

本センターでは、地域の集いの場に出向いて「フレイルチェック」を行っています。フレイルチェックとは、フレイル（加齢による心身の衰え）を早めに見つけ、予防につなげるためのものです。握力や片足立ちの時間などを測定し、現在の体の状態を確認します。昨年度は、10か所の集いの場に出張し、延べ120人の方にフレイルチェックを受けていただきました。チェック後に毎日トレーニングを続けたことで、数値が大きく改善した方もいらっしゃいます。「今の自分の健康状態を知りたい」「これからの生活に役立つアドバイスがほしい」という方は、お気軽に本センターへご連絡ください。

フレイルとは？



フレイルとは健康と要介護の間にあたるゆらぎやすい状態です。早期に対応すれば健康な状態に回復する可能性があります。

チェックの流れ



片足立ち

バランス能力が分かります



握力測定

全身の筋力の目安になります



振り返り

測定結果をもとに、今後のアドバイスをお伝えします

令和8年度結核検診へ出張予定です。詳しい内容は町広報紙6月号に掲載しますのでご確認ください。

脳元気測定会を開催しました

3月11日(水)なごみの会で脳元気測定会を開催し9人が参加しました。専用のDVDを観ながらテストを受けていただき、脳の健康度をチェックしました。なごみの会では、1年に1度脳元気測定会を行い、変化がないか確認しています。参加された方からは「毎年受けていますが、自分の状態を知るよい機会になっています」など感想がありました。

脳元気測定会は、公的な場での開催のほかに、サロンなどの地域の集まりにも出張可能です。また、以前測定会を行った集いの場でも再度測定できます。本センターまでお問い合わせください。



真剣に取り組まれています

地域を支える力を育む！認知症サポーターステップ・アップ講座を開催しました

3月13日(金)福祉会館で認知症サポーターステップ・アップ講座を開催し、18人が受講しました。この講座は認知症サポーター養成講座を受講した方を対象に、認知症への理解を深め、地域で支える力を高めることを目的に開催しました。

認知症の方やその家族を地域で支えるうえでの実際の課題や、地域でできる支援について、認知症支援に関わるケアマネジャーを交えて意見交流を行いました。地域で優しい見守りや声かけを続けることの大切さを再確認する講座になりました。

参加者の声

- ・認知症本人を尊重すべき。関わり方がとても重要なので、言葉選びも大切。
- ・話し相手からしかできないかもしれない。自分にできることからやっています。
- ・周りの人に認知症であることを伝えられるまちになると良い。どうすれば実現できるのかを考えていきたい。



自分らしく暮らせる地域について考えました

事業と予算



笠松町社会福祉協議会では、共に生き・支え合い・認め合う「福祉のまちづくり」を展開していくため、今年度の事業計画を次のように決めました。おもな事業および予算をご紹介します。

行政機関、住民組織や民生委員をはじめとする関係団体と地域社会のつながりの再構築を模索し、さらに、すべての人たちに役割と居場所がある、地域共生社会の実現に努めます。

基本姿勢

- * 住民参加・協働による福祉のまちづくりの推進
- * 住民のたすけあいやボランティア活動への支援
- * 地域の福祉ニーズの把握
- * 福祉サービスの相談・調整機能の充実
- * 介護保険などのサービス事業者としての効率的な事業経営・サービスの質の向上

主な事業

社協体制の強化

理事会、評議員会の開催

広報・啓発

広報紙の発行(年6回)
ホームページの管理
社会福祉大会の開催
SNSを活用した情報発信

ボランティア活動の推進 (ボランティアセンターの運営)

ボランティア総合相談窓口
ボランティア研修会
技術ボランティアの育成
災害ボランティアセンター設置・運営訓練

高齢者福祉

ひとり暮らし高齢者見守り事業
①ひとり暮らし高齢者配食サービス
②ひとり暮らし高齢者安否確認事業
ひとり暮らし高齢者向け情報紙「えがお」

障がい児・者福祉

障がい啓発事業

介護保険事業

居宅介護支援(ケアマネジメント)

在宅福祉

福祉機器の貸出(車いすなど)
生活困窮者生活援助事業

福祉教(共)育・地域育成

福祉教育担当者会議
福祉出前講座
ふくし体験教室
ボランティアグループKind育成
ふれあい・いきいきサロン推進事業
ふれあい・いきいきサロン交流会
地域ふくし懇談会



サロン交流会

受託事業(受託先)

地域包括支援センター運営事業(町)
生活支援体制整備事業(町)
介護保険要介護認定調査事業(町)
生活福祉資金貸付事業(県社協)
日常生活自立支援事業(県社協)
子どもの学習支援事業(県)

その他

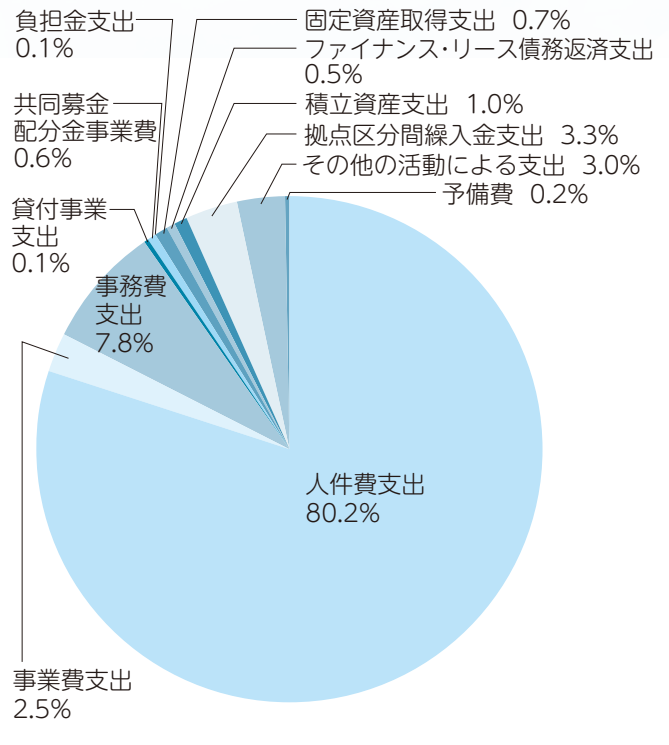
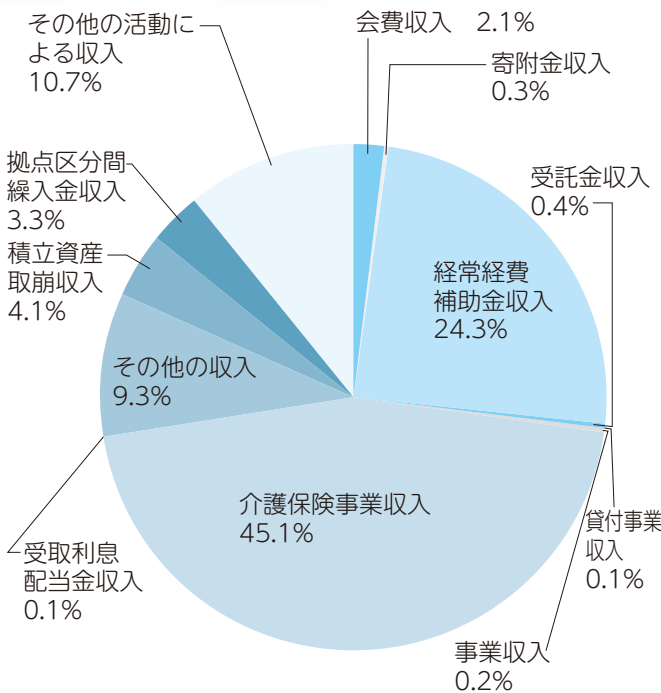
社会福祉法人等連絡会の推進

今年度の予算

収入	(単位千円)
会費収入	3,380
寄附金収入	500
経常経費補助金収入	39,179
受託金収入	672
貸付事業収入	100
事業収入	283
介護保険事業収入	72,631
受取利息配当金収入	85
その他の収入	14,921
積立資産取崩収入	6,699
拠点区分間繰入金収入	5,324
その他の活動による収入	17,255
収入計	161,029

支出	(単位千円)
人件費支出	129,191
事業費支出	4,082
事務費支出	12,565
貸付事業支出	200
共同募金配分金事業費	989
負担金支出	143
支払利息支出※	21
固定資産取得支出	1,045
ファイナンス・リース債務返済支出	741
積立資産支出	1,561
拠点区分間繰入金支出	5,324
その他の活動による支出	4,843
予備費	324
支出計	161,029

※値が小さいためグラフに反映されません



令和8年度 社会福祉協議会費へのご協力をお願い

社協は「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して、関係機関や行政と連携し、住民の皆さんに参加・協力を得ながら、各種事業を展開しています。

皆さんからの会費は、すべて本会の運営や地域福祉事業に使わせていただいております。各町内会長さんなどのご協力のもと、会費を集めさせていただきますので、ご協力よろしく願いいたします。

- ◎一般会費 1口 500円
- ◎賛助会費 1口 1,000円
- ◎法人会費 1口 2,000円

社会福祉協議会の財源

1. 町民の皆さんからいただく会費
2. 赤い羽根共同募金の配分金
3. 自主財源
4. 行政などからの補助金

などを基に各種事業を実施しております



あたたかい善意のこころ (2月7日～4月8日) (順不同) ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

皆さんよりお寄せいただきました「あたたかい善意のこころ」は、地域福祉事業に役立てます。

- 匿名 …………… 金 14,000円
 - 匿名 …………… ランドセル 1個 (送料代含む)
- ランドセルは (公財)ジョイセフを通じて海外(アフガニスタン)へ送られます。

災害義援金報告 (寄付者一覧) 12月10日～4月8日(順不同)

皆さんよりお寄せいただいた義援金は被災地へ送金させていただきました。ご協力ありがとうございました。

- 令和7年大分市佐賀関大規模火災義援金 福祉健康センター義援金箱 1,975円
- 令和6年能登半島地震災害義援金 町内設置義援金箱 2,249円 (パティスリー小菊・ソワユ・笠松天領の駅・ごはん居酒屋いろんなん)
- 令和6年能登豪雨災害義援金 町内設置義援金箱 11,430円 (パティスリー小菊・ソワユ・笠松天領の駅)
- 穴水町災害義援金 笠松町防災講演会義援金箱 13,404円

町内義援金箱設置場所 ご協力をお願いします!

パティスリー小菊・ソワユ・笠松天領の駅・ごはん居酒屋いろんなん・福祉健康センター

施設サービスのご案内



- **デイサービス** 入浴、食事、レクリエーション等充実した楽しい一日をご提供します。
- **グループホーム** 認知症の方の「もう一つの家」として24時間体制でお世話させていただきます。
- **予防リハビリ** 体を動かし、頭を働かせ身体の機能回復を図ります。
- **居宅介護支援事業所** 介護に関してのご相談を専門スタッフが受け致します。
- **小規模多機能** デイサービス・泊まり・訪問介護の組み合わせにより24時間サポートをします。



入居受付中

高齢者介護施設

〒501-6047 岐阜県羽島郡笠松町二見町15-1 **笠松駅前** TEL.058-387-7101

めざせ! 生涯自立

家で自立した生活をするための

体操教室 ※ 介護保険サービスです



アクティブでできる事

- ご自宅まで送迎します
 - 健康チェック
 - 生活に必要な筋肉体操
 - コーヒータイム 運動後は話も弾みます!
 - 帰宅途中に買い物に行きます。(水曜日希望者のみ)
- 90分～**
約650円/回～

動けなくなってから
身体を戻すことは大変です。
介護保険を利用するのは私にはまだ早い。
そう思っている方!
今こそ筋肉体操で体力を保ちましょう!

アクティブトレーニングセンター

まずは 見学・体験 してみませんか?
お気軽にご相談ください



めざせ!
生涯自立

058-387-0054 【受付時間】 8:00～17:00
URL: <https://active-training.center/> 住所: 笠松町門間46-2

無料体験 実施中!



笠松町 介護予防・日常生活支援総合事業 指定事業者

★財源確保のため広告を掲載しています。広告の内容に関する問い合わせは直接広告主へお願いします。
また、広告掲載を希望される方は、本会(☎387-5332)までお問い合わせください。